

第3章 将来人口

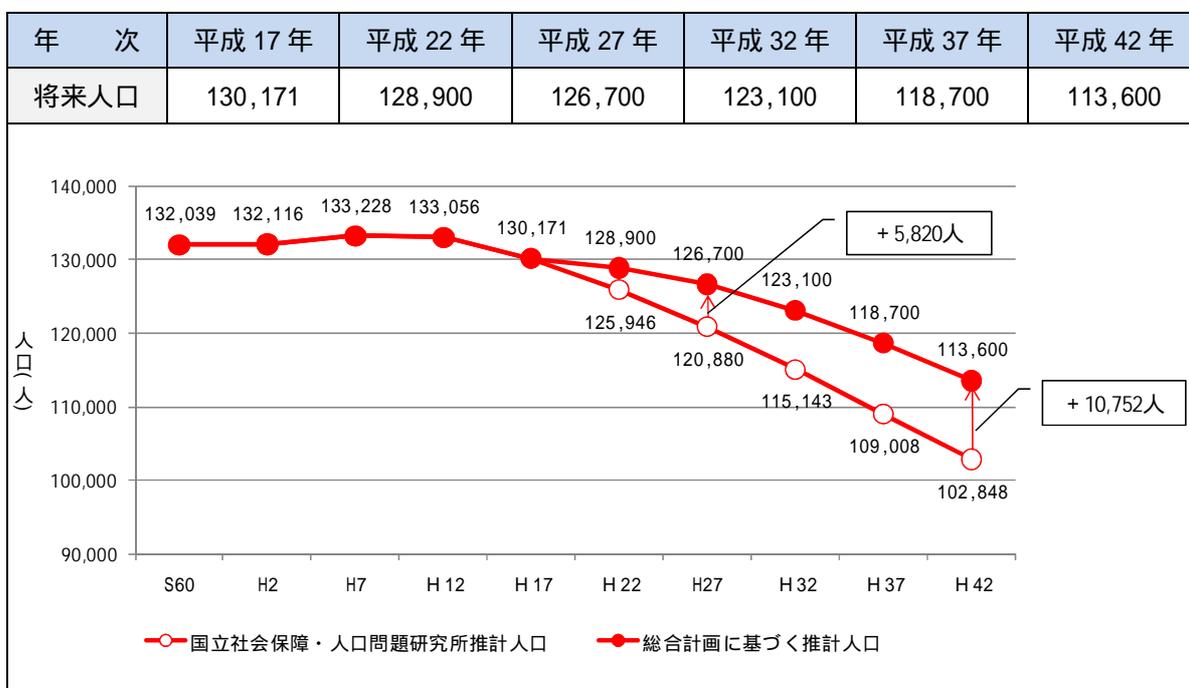
第3章 将来人口

(1) 総人口

本市の人口は、平成12年以降減少傾向に転じており、この傾向は、今後も続くことが予想され、平成42年には102,848人になるものと「国立社会保障・人口問題研究所」は推計（平成20年12月）しています。

各種施策を展開し、まちの魅力を高め、市外への転出抑制と市内への転入促進、子育て環境の充実を図ることにより、平成42年の将来人口は、「国立社会保障・人口問題研究所」の推計値より10,752人多い、113,600人と想定します。

将来人口（人）

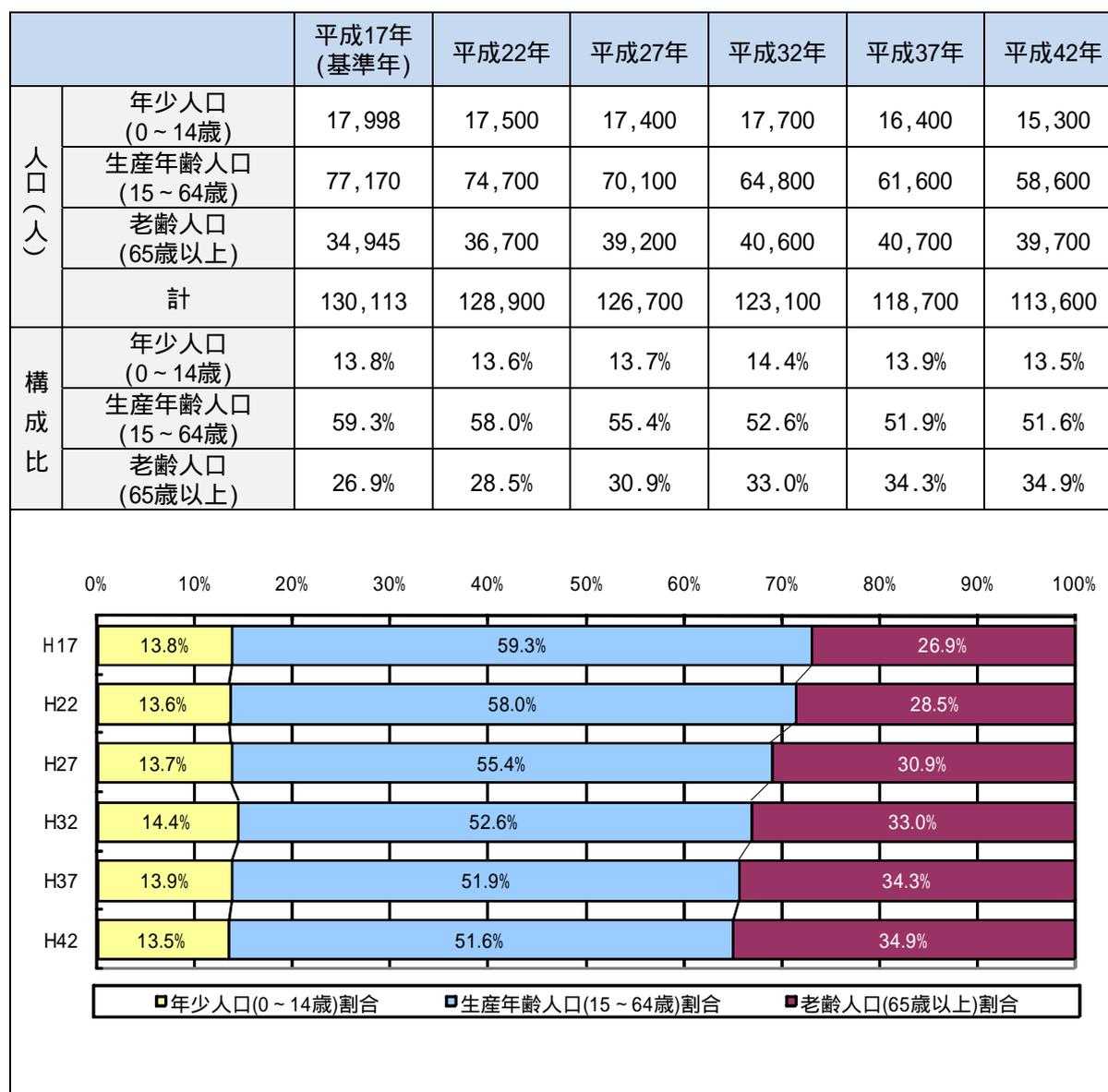


注) 国立社会保障・人口問題研究所がホームページ上で提供している将来推計人口データベースの小地域簡易将来人口推計システムにより、総合計画で用いている諸条件を当てはめ算定したものです。

(2) 年齢別人口構成

今後も、年少人口、生産年齢人口は減少が続き、高齢人口は増加するものと予想されます。平成42年の年少人口割合を13.5%、生産年齢人口割合を51.6%、高齢人口割合を34.9%と想定します。

年齢別人口構成



注) 平成17年の人口は年齢不詳を除く。

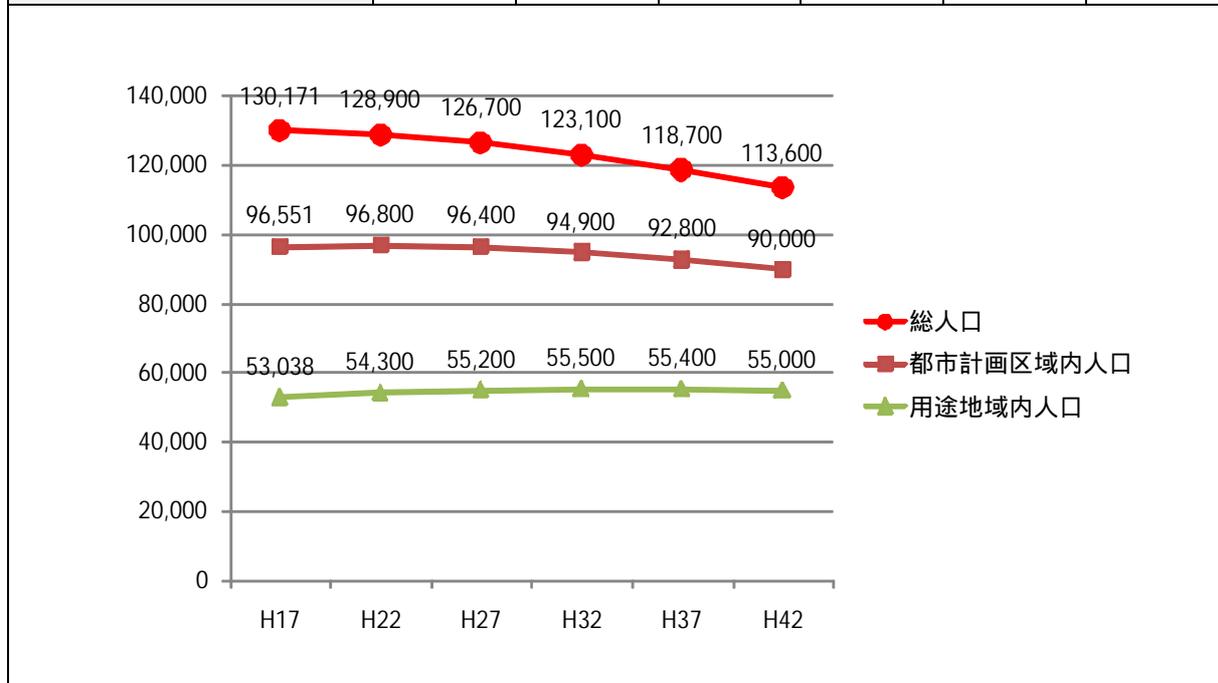
(3) 都市計画区域内人口及び用途地域内人口

都市計画区域内人口は総人口の減少に伴い減少しますが、用途地域内人口は平成32年までは増加し、その後は減少傾向に転じるものと予想されます。

平成42年の都市計画区域内人口を90,000人、用途地域内人口を55,000人と想定します。

都市計画区域内人口、用途地域内人口の推計

	H17	H22	H27	H32	H37	H42
総人口(人)	130,171	128,900	126,700	123,100	118,700	113,600
都市計画区域内人口(人)	96,587	96,800	96,400	94,900	92,800	90,000
都市計画区域内人口比率	74.2%	75.1%	76.1%	77.1%	78.2%	79.2%
用途地域内人口(人)	52,980	54,300	55,200	55,500	55,400	55,000
用途地域内人口比率	40.7%	42.1%	43.6%	45.1%	46.7%	48.4%



注) 将来の都市計画区域内人口と用途地域内人口は、総人口に対するそれぞれの割合をトレンドした値を用いて、按分し算定したものです。